

1992-93年度国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから



## Real Happiness is Helping Others

- 国際ロータリー会長 クリフ・ダクターマン
- 第2560地区ガバナー 栗山 清
- 会長——内山辰策
- 副会長——上木六治
- 幹事——榎本 勝
- 副幹事——五十嵐総一
- SAA——渋谷正一
- 副SAA——松谷昊吉
- 例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

**出席者会員数** 会員 75名中 55名

**先々週出席率** 88.89% (前年同期 88.89%)

**今日のお花** ピンクユリ、スターゲザリ、アルタイカ

**ヴェジター** 三条南より 坂井範夫さん

**先週のメイクアップ**

7/23 加茂へ 岩井数央さん、古沢富雄さん

7/23 燕へ 外山一郎さん、渡辺勝利さん

7/24 新潟東へ 堀川政雄さん

7/27 三条南へ 加藤紋次郎さん、五十嵐晋三さん、松谷昊吉さん、熊倉昌平さん、伊藤廣一さん、荻野保和さん、上木六治さん、藤田紘一さん、渡辺喜彦さん、長谷川有美さん

7/28 三条北へ 渋谷健一さん、大谷幸平さん、外山一郎さん、松谷昊吉さん



**会長挨拶** 内山(辰)会長

私は昨日、海上自衛隊の体験航海に参加して参りました。戦艦は榛名で護衛艦の大きさは6,000トン、長さ153m、巾17.5mということで、初めて護衛艦に乗って見ましたが、佐渡の方までぐるーと廻って来ました。それで色々と自衛隊の体験されている仕事を見せてもらいました。

我がクラブの榎本幹事が、当日は一日艦長を務められまして、これはもうほんとうにキンピカの白クツ白ズボンの誠に立派ないでたちでした。ただ残念な事は、昔ですとこの様ないで立ちで短いキンピカの短刀を吊り下げていたもので、あれを吊り下げたらそれはもうほんとうにすばらしい艦長でなかったかなーと、残念に思いました。

そんな事でほんとうに楽しい一日を過ごして参りました。

ここに来て連日暑い日が続きまして皆様方外に出ると暑いし、内に入ると涼しい。体調のバランスが崩れる日常であります、皆様方十分に注意したいと思います。

何時も報告のみが続いて恐縮ですが報告しなければなりませんので、報告を致します。

7月25日です。出席されました方は、新発田、新潟、三条、長岡、柏崎東、高田クラブの6名が呼出されたわけでございます。一方では各地区幹事とガバナー事務所の役員、地区役員全員が揃って出席並んで居られました。例の通り話が纏まっていないので、どうも理解に苦しむ場面に終始した次第です。

結論から申し上げますと、ガバナーの裁定で登録が50%以上を期待する、という様な非常に軟らかくなりました。

反面、今度地区資金運営分担金というか、これを人头割として5,000円/人程度の拠出をお願いしたいという様なことであります。これは結論ではありません。それから登録料は新潟県10,000円、群馬県15,000円と、ちょっと理解に苦しむ様な所がありますが、その様な話でありました。先般も諮問委員会があった様ですが、結論はどうなるか解りませんが、その様なことであります。

それで、話は非常に蛇行致しまして、どの規模で具体的にどの様な事をやりたいという様な事は一切出て来ないで、ただ収入と支出が乗っていて、それに対する中身が不明で解らないのが実体です。

それから地区資金協力金というのは、私は忘れていましたけれども、兎に角ガバナー事務所で予算をお立てになるのは、2月だそうです。それで地区諮問委員会にかけて決定してもらい訳ですが、実際蓋を開けてみて、自分の所をつぶさに予算を立てるととてもじゃないがお金が足りない、こういう事にして1,200万円位赤字になるという事で、その内500万円は新潟地区の方で調達、他700万円に対するのが拠出金でそういった事での人头割が5,000円/人という話が出ておりました。だからそういった事で承知したような、承知しない様な、させられた様な感じで帰って来ましたのですが、ほんとうにその点私どもも予

算がもうすでに決定しておまして、非常に難しい中で、今日も幹事さんと話し合っておりましたが、粗食デーを設けたりして色んな格好の中でやって行かなければ成らない事がある訳です。

前にも申し上げましたけれども、私どもの40周年の特別積金をやって行かなければならないという中ではほんとうにこの50%にして、人头割を納めるとなると私どものこの予算では無理が生じて来ます。当初30名で45万円の予算を見ておまして、その中で40%で人头割を考えると、私と幹事さんでやりくりしてなんとかなるという感じですが、それと同時に睨んで置かなければならないのは、来年4月25日の見附の10周年記念がありますが、これに対する考え方をきちっと決めておかないと皆様に自己負担を掛けることに成ると思います。これから理事会等で色々検討してみますがそれが私どもの実態です。

**幹事報告** 榎本幹事

◎明るい町づくり推進委員会より

明るい町づくり運動への募金御礼状がとどいております。

◎例会変更のお知らせ!

村松RC 7月30日(木) PM6:30~ 於 木むら

◎会費未納者は今月末迄納入願います。

**8月のお祝い**

- ◎会員誕生祝 1日 渡辺宏策さん 7日 池田千秋さん 14日 清水良一さん  
16日 五十嵐総一さん 26日 内山辰策さん
- ◎夫人誕生祝 7日 五十嵐きみ子さん(昭一) 12日 渡辺ヒロさん(宏策)  
12日 五十嵐央子さん(寿一) 14日 山本雅子さん(恒男)  
14日 近藤律子さん(雄介) 18日 石橋久子さん(育於)  
18日 関本幸子さん(哲秀) 26日 古沢美代子さん(富雄)  
28日 日戸英子さん(平太) 31日 五十嵐宏子さん(総一)
- ◎100%出席賞 35年 鈴木宗資さん 35年 渡辺惣吉さん 12年 五十嵐総一さん



- 内山(辰)さん 昨日海上自衛隊の体験航海に参加しました。護衛艦はるなを見学しました。榎本幹事が一日艦長を勤められ艦長の出で立ち勇壮で見事でしたので。
- 榎本さん 昨日、新潟西港に於て、海上自衛隊体験航海の「はるな」護衛艦の一日艦長を務めて来ました。感激で双眼鏡が曇りました。
- 渡辺(宏)さん やむなく早退致します。菊地会員の卓話を拝聴出来ず残念です。
- 伊藤さん 松縄さんのご回復、おめでとうございます。どうぞマイペースで無理をなさらぬ様に。
- 斎藤(弘)さん 岩崎恭子さんの金メダルのシーンをみて心から感動致しました。
- 渡辺(喜)さん 本年度に入ってホームクラブの出席が悪くすみません。出席率向上の努力を誓って。
- 菊地さん 藤田先生の前で仏教の話をさせていただきます。
- 佐藤さん ようやく日本棋院の初段になりました。囲碁に興味のある方とお手合せお願い致します。
- 細井さん、小林(敬)さん  
今日も健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会福祉活動に協力してボックスへ。

## 委員会報告

### ●親睦委員会

最近名札を間違っ持ち帰る方がありますが、出欠のチェックに支障があります。持ち帰らぬ様。

## 卓話

菊地 渉 会員

浅学非才の身ですが、役目で仏教のお話をさせていただきます。

先週の三条警察の高森婦警のお話で「どんな子供でも悪い子はいない。皆んな家庭や環境に問題があるんだ。その問題を解決しなければ、子供を叱ってせめても解決にはならないんだ」という旨のお話がありました。同世代に子供を持ち、あれこれと悩んでおる身として深く考えさせられたことでした。

実は仏教の教えも同じでありまして、私達は毎日の生活の中で悩み苦しみをもって生きています。その悩み苦しみにはみんなそれぞれ原因があって、その原因を断たなければ解決はつかないのです。卑近な例で申し訳ありませんが、便所がクサイのは、下にウンコを

溜めているからであって、便所の構造や脱臭剤のせいではないのです。それなのに今日、下のウンコはそのままにして、科学文明や医学や科学の力で臭いを消せると考えている。そこに今日の問題があるのです。

仏教は自業自得の教えです。縁起の法です。縁起という言葉は、今日国語的には、縁起が良いとか悪いといった吉凶の前兆や、起源・歴史というような意味でも使われておりますが、元もとの意味は「あらゆる現象(結果)は、さまざまな原因や条件(縁)によって起る」ということです。これは当り前のことです。が、解ってはいるけれどなかなか引き受けられないのです。明らかに自分の責任ならいざ知らず、自分で蒔き覚えのない種まで刈り取らなければならないのですから。

お釈迦さま在世の頃にこんな話がございまして。アングリマーラという大変美男な学生がおりまして。美男であるが故に、自分の師匠の奥方に誘惑されるんです。それを拒むと、淫乱な奥方はあらぬことを夫に告げるのです。妻の言葉を信じた師匠はアングリマーラに「お前の修行はあと一步で完成だ。あとは街へ出て人を千人危めて、その指で首飾りを作るように」と命ずるのです。陰険な方法で仕返しを考えたのです。師匠の言葉を信じたアングリマーラはその日から殺人鬼と化しました。

あと一人で千人という時に、この話をお聞きになり哀れに思われた釈尊に出会い、救われて祇園精舎の一員に入りました。そして当時の僧侶がそうするようにアングリマーラも毎日托鉢に出ました。しかし昨日までの人殺しに食べ物を施してくれる人は誰もおりません。それどころか唾をかけられ、石や棒で傷付けられて毎日血だらけになって帰って来ました。そんなアングリマーラに向って釈尊は「耐えなさい。受けるべき業を受けなさい」と諭されたのです。そして血だらけのままアングリマーラは救われていきました。

アングリマーラは確かに人を危めました。しかしそれはいろいろな業因縁によっています。美男子に生まれたが故に、淫乱な奥方に会ったがために、陰険な師匠に師事したが故に。これは私達にも当てはまることだと思います。望んで生まれてきた覚えもありません。この人達を父母にと願ったわけでもこの子供達の親になろうと思ったわけでもありません。この地を故郷にこの家を生家を選んだ覚えもありません。こんな顔にこんな才能にと望んだわけでもありません。生まれてみれば、気が付いてみれば、今の私がこうしているのです。

「お盆」にまつわるこんな話もございまして。ある日、釈尊のお弟子目連が思ある母親が餓鬼道に堕ちているのを見つけます。何とか救おうとするのですが、手立てがございませぬ。そこで釈尊に相談すると釈尊は「お前の母親はお前を育てるために罪を犯した。例えば、腹をへらしたお前のために盗みもした。お前が喧嘩をして泣かされてくれば、非がどちらにあらうとも相手を憎んだ。いわば自業自得なんだ。世の中の母親というものはそういう存在なんだ。「救う方法はないのでしょうか」と重ねて問うと、「7月15日に安居が



終るのを待って、インド中の坊さんを供養することによって救うことが出来るかも知れない」と言われました。

目連は言われたようにインド中の坊さんを供養する。供養といっても花の一本も捧げたのでしょうか。一人ひとりの坊さんの生き方を問うというか、一人ひとりの仏道を確認するということでしょうか、そうすることによって餓鬼道に堕ちた母親と心を交わすことが出来たのです。これがお盆の話のもとです。ここでも縁起の法に基づいて語られております。

私達の毎日は六道（①天人②人間③修羅④餓鬼⑤畜生⑥地獄）の繰り返しです。迷いの連続です。しかし仏教の教えを聞き、我が身を深く慙愧し、念仏申せば、この身は六道から一步も出れないかも知れないけれど、六道にありながら六道を引き受けて生きる人生を賜ることが出来ます。どんな縁もどんな業も引き受けて、賜った「いのち」を力強く生きることが出来ます。それが仏教の教えの根幹です。

---

8月5日例会 卓話「最近の郵便事情」三条郵便局長 平原巖一殿

---

8月12日例会 休 会

---

8月19日例会 クラブアッセンブリー

---